

## 富山事業所におけるPPAモデルを活用した太陽光発電システムの導入拡大 ～カーボンニュートラルの推進に向けた再生可能エネルギーの活用～

株式会社不二越(本社:東京都港区、代表取締役 社長執行役員:黒澤 勉、以下「当社」と日本海ガス株式会社(本社:富山県富山市、代表取締役社長:新田 洋太郎、以下「日本海ガス」)は、太陽光発電システムPPAモデル(第三者所有モデル)に関する契約を新たに締結し、当社 富山事業所にて太陽光発電システム 552.96kW の運用を開始しましたことを、下記のとおりお知らせいたします。

当社はカーボンニュートラルに向け、2022年より再生可能エネルギーの導入を進めてまいりました。今回、国内4か所目の導入として、富山事業所 歯切工具工場にPPAモデルを活用した太陽光発電システムを増設し、2025年6月に稼働開始いたしました。

PPA事業者である日本海ガスは、当社の事業所内に機器を設置し、発電した電力を当社へ全量供給するエネルギーサービスを行います。

この度の増設により、太陽光発電システムは、富山事業所と滑川事業所の合計で 2,895.82kW となりました。これにより、年間約 1,250t の CO<sub>2</sub> 排出量削減<sup>※</sup>が見込まれます。

当社は、引き続き再生可能エネルギーの導入・普及などを通じ、気候変動への対応を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※CO<sub>2</sub> 排出削減想定量は、「地球温暖化対策事業効果算定ガイドブック」(環境省 地球環境局発行 令和 7 年 3 月改訂)に基づき算出



自家消費型太陽光発電システム(富山事業所 歯切工具工場)

◆今回のシステム導入の概要

設置機器	自家消費型太陽光発電システム 552.96kW(パネル 1,152 枚) 遠隔監視・計測システム 非常用コンセント
稼働開始年月	2025年6月
設置場所	株式会社不二越 富山事業所 歯切工具工場 富山県富山市不二越本町1丁目1番1号
導入目的	① カーボンニュートラル実現に向けた取り組み ② 再生可能エネルギーの地産地消(自家消費モデル) ③ 環境関連法規への対応(省エネルギー法、工場立地法) ④ 停電時の緊急電源としての活用(レジリエンスの強化)



◆導入実績

稼働開始年月	設置場所	発電出力 (パネル容量)	CO <sub>2</sub> 削減量※ (年間)
2022年 7月	富山事業所 ロボット第3工場	513.38 kW	220t
2024年 2月	富山事業所 ロボット第2工場	381.80 kW	170t
2024年11月	滑川事業所 油圧モータ第2工場	1,447.68 kW	620t
2025年 6月	富山事業所 歯切工具工場	552.96 kW	240t
合計		2,895.82 kW	1,250t

◆PPAモデル(第三者所有モデル):

電力使用者(当社)が敷地や屋根などのスペースを提供し、太陽光発電設備の所有・管理を行うPPA事業者(日本海ガス)が発電システムを設置して、そこで発電された電力を電力使用者へ供給する契約形態です。

◆本件に関するお問合せ

株式会社 不二越  
TQC・TPM 推進本部 エネルギー課 喜内  
TEL:076-423-6523